１年生は、『種』から『つぼみ』へ、成長しています

昨日も紹介しましたが、１年生自然教室について、もう少し詳しく紹介します。
１年生は、５月３０日(月)から６月１日(水)まで、２泊３日で、海の中道青少年海の家へ、自然教室に行ってきました。これまでの２年間はコロナ禍のため、日程を変更した上、１日だけの活動でした。今年は、３年ぶりの２泊３日での宿泊体験となりました。

初めて１年生だけで取り組む行事であり、３日間、寝食を共にする活動であり、子ども達はこの自然教室を大変楽しみにしていました。実際に、初日武道場に集まった時、ややテンションが高く、これから先の活動が少し心配になるほどでした。しかし、実行委員の呼びかけや先生方の指導により、大きく羽目を外すことはなく、３日間、過ごしました。むしろ、ずっと一緒に生活したことで、大変絆を深めることができました。

この自然教室は、絆を深めることや、楽しい思い出をつくること、集団生活をとおして互いを思いやり、協力し、よりよい集団をつくることなどが目的でした。

子ども達は係活動をとおして呼びかけをしたり、協力して活動したりすることで、大きく成長しました。中学生らしくなったと言えます。上記の目的は簡単に『達成した』と言えるものではありませんが、目的達成に大きく近づいたと言えます。

特に印象に残っているのが、３日目の学校に戻る少し前の時間帯に、多くの生徒が様々な呼びかけを行っていたことでした。１日目は、実行委員や一部の生徒だけが呼びかけをしていましたが、実行委員が頑張っている姿を見て、多くの生徒が賛同し、呼びかけをすることができるようになりました。

このような姿を見ると、１年生も太宰府西中学校生徒の一員になったと感じられます。１年生の学年集団としての、さらなる成長が期待されます。

☆　思い出のシーン

ローズガーデンを通過

つどいの広場で集会

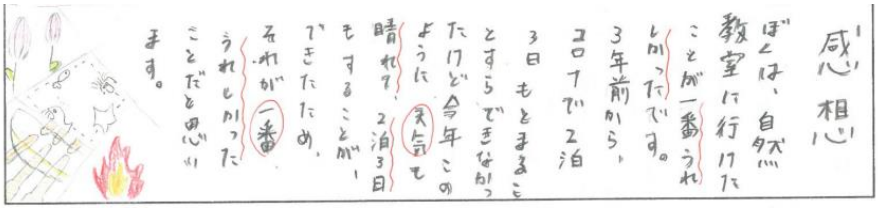
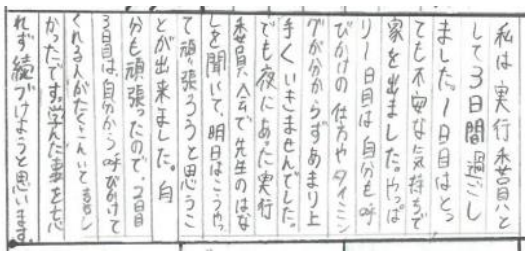
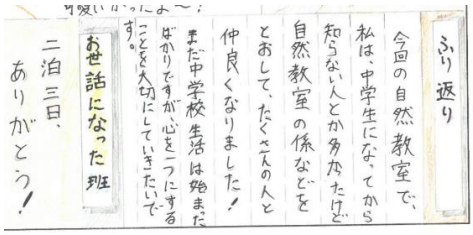
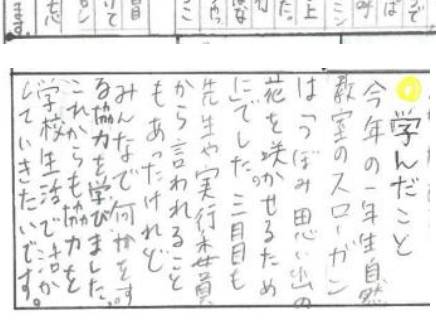
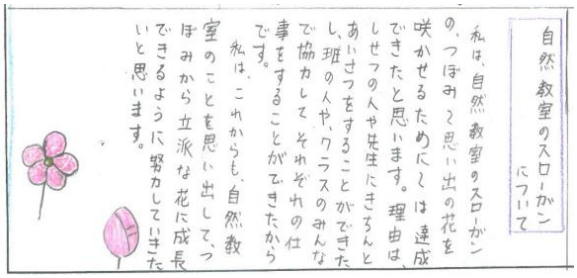
係生徒がキャンプファイアーの片付け

レクの綱引き。大いに盛り上がりました

プレイホールでも何度か集会や活動をしました

海岸でスケッチ大会

実行委員のあいさつです

☆　自然教室新聞を作りました

自然教室の活動のまとめとして、自然教室新聞を作りました。生徒作の自然教室新聞をご覧になられて、生徒の感想や成長ぶり、思い出等を感じていただきたいと思います。